



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.697

19. 7. 23

タリン音楽祭帰国報告(歌で国の独立と自由を勝ち

取った!)・定例レッスン・嶋本教室開催! 1月19・21日

□7月19日(金)18:00~20:30昂定例レッスンが開催されました。今日は6月30日のレッスンから3週間ぶりのレッスンとなりました。

佃さんの体操・吉岡さんの滑舌訓練・富樫さんのヴォイストレーニングにはじまり、副指揮者・伊藤さんの指揮で、13回コンサートの演奏・新曲群「見上げてごらん夜の星を」「U Boj!」と「DINDARU DANDARU」を、休憩・連絡事項をはさんで、引き続き、本並先生の指揮で、今年の合唱発表会の2曲・「日々草」「朝露」をレッスンしました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全36名でした。



□7月21日(日)14:00~17:00嶋本晃声楽教室が開催されました。佃さんの体操のあと、「懐かしきケンタッキーの我が家」を、嶋本先生の指導のもと、1時間ほど各パートのメロディと音程の確保をしっかりとおこなったうえで、パート間のハーモニーを作っていました。休憩・連絡事項をはさんで、引き続き、「懐かしき・・」の後半43小節から最後までをハモらせていきました。最後に、本並先生の指揮のもと、「日々草」「朝露」のレッスンを行い、今日のレッスンを終えました。ピアノは森二三さん。参加者は全35名でした。



□連絡事項

(1) 大阪市内南部合唱発表会 2019年7月28日(日) 鶴見区民センター小ホール

昂 10:00集合、「日々草」「朝露」

舞台リハーサル: 10:20~10:30 集会室リハ: 11:10

開会: 13:00 昂の本番(4番目): 13:31 夏服着用・9条バッジ

なお、鶴見区民センターは、「長堀・鶴見緑地線」門真南方面行で「横堤」下車: ④番出口すぐ。

(2) 「昴第9回団内コンサート」開催のお知らせ

日時：2019年8月11日(日) 集合：13:00 開演：13:30 ねむかホール

個人のリハーサル日：8月4日(日) プログラム・リハーサル表は配布済み。

ピアノ伴奏：中村先生分13:00～14:50 森先生分15:00～17:00

各パートのリハーサルはコンサート当日13:00～13:30(各パート10分)

男声合唱団 昴 第9回 団内コンサート プログラム

日時：2019年8月11日(日) 集合13:00 開演13:30 場所：ねむかホール(昴の通常練習場所)

1) 開会のあいさつ(本並美徳)	17) 高田 和弘 尺八 月の砂漠 P:森 二三
2) 発声指導 中村 聖保 (昴声楽教室指導教師)	
3) 大橋 一雄 ・かなしくなったときは 詩：寺山修司 曲：大中恩 P:中村 聖保	18) 仲谷増廣・中谷清一 ・キエフの鳥の歌 ウクライナ民謡 訳詞：木内宏治 P:中村 聖保
4) 米川 熱 ・ロッホ・ローモンド(Loch Lomond) 訳：近藤玲二 曲：Scotch Air P:中村 聖保	19) 山本 直一 ・カタリ・カタリ 詩：コルディフェロ 曲：カルディロ P:中村 聖保
5) 小西 隆 ・出船 詩：勝田香月 曲：杉山長谷夫 P:中村 聖保	20) 奥村 克美 ・城ヶ島の雨 詩：北原白秋 曲：梁田貞 P:中村 聖保
6) 立川 孝信 ・津軽のふるさと 詩・曲：米山正男 P:中村 聖保	21) 山本 宏司 ・くちづけ(il bacio) 詞：G.アルディギエレ 曲：G.アルディーティ P:森 二三
7) 若園 達雄 ・はぐれコキリコ 詩：もず唱平 曲：聖川湧 P:中村 聖保	22) 吉川 勝彦 ・からたちの花 詩：北原白秋 曲：山田耕作 P:森 二三
8) 西村 熱 ・春の夢(Fruhlingstraum) 冬の旅第11曲 曲：シューベルト P:中村 聖保	23) 大畠 成美 ・明日に架ける橋 作・曲：P.サイモン P:森 二三
9) 吉岡 敬 ・かやの木山の 詩：北原白秋 曲：山田耕作 P:中村 聖保	24) 伊藤 知 ・Una furtiva lagrima(人知れぬ涙) オペラ「愛の妙薬」第2幕から 曲：G. Donizetti P:森 二三
10) 塙 武 ・琵琶湖周航の歌 詩：小口太郎 曲：吉田千秋 P:森 二三	25) 富樫 龍一 ・ひとつ名前の兄弟の歌 詞・曲：林光 P:森 二三
11) 更家 幸雄 ・Danny Boy アイルランド民謡 P:森 二三	26) 千秋 昌弘 ・三池の主婦の子守唄 詩・曲：荒木栄 P:森 二三
12) 鈴木 淳一 ・砂山 詩：北原白秋 曲：山田耕作 P:森 二三	27) パート別演奏(T1) ・おやすみ仲間達 詩・曲：荒木栄 無伴奏
13) 川妻 成美 ・郵便馬車の取扱だった頃 ロシア民謡 P:森 二三	28) パート別演奏(T2) ・野ばら 詞詩：近藤朔風 曲：ウェルナー P:中村 聖保
14) 寺脇 伸育 ・枯葉 詞：岩谷時子 曲：コスマ P:森 二三	29) パート別演奏(Br & Bs) ・囚われ人 P:森 二三
15) 向井 勝弘 ・恋する兵士 詞：エーリル・カフー 曲：ヨシコ・カンオ P:森 二三	30) 森 二三 ・ピアノ独奏
16) 土井 一正 ・私を責めないで 詞：大胡敏夫 編曲：M.セミヨーノフ P:森 二三	31) お客様の感想
	32) 閉会のあいさつ(伊藤 知)

男声合唱団 昴 第9回 団内コンサート リハーサル順番表

	開始時間	出演者	ピアノ
8/4(日)	13:00	大橋 一雄 中村	
	13:10	立川 孝信 中村	
	13:20	米川 熱 中村	
	13:30	小西 隆 中村	
	13:40	若園 達雄 中村	
	13:50	西村 熱 中村	
	14:00	吉岡 敬 中村	
	14:10	仲谷増廣・中谷清一 中村	
	14:20	山本 直一 中村	
	14:30	奥村 克美 中村	
	14:40	山本 宏司 中村	

	開始時間	出演者	ピアノ
8/4(日)	15:00	高田 和弘 森	
	15:10	塙 武 森	
	15:20	更家 幸雄 森	
	15:30	鈴木 淳一 森	
	15:40	川妻 成美 森	
	15:50	寺脇 伸育 森	
	16:00	向井 勝弘 森	
	16:10	土井 一正 森	
	16:20	吉川 勝彦 森	
	16:30	大畠 成美 森	
	16:40	伊藤 知 森	
	16:50	富樫 龍一 森	
	17:00	千秋 昌弘 森	

「ソロのリハーサル」は、状況に合わせた運用をします。

皆の許す方は、予定時間の30分前程度にお越しいただき、仲間のリハーサルをお聞きいただければ幸いで
もちろん全部聞いていただければなおかげです。

	開始時間	ピアノ
8/11(日)	13:00	パート別演奏(T1)
8/11(日)	13:10	パート別演奏(T2) 中村
8/11(日)	13:20	パート別演奏(Br & Bs) 森

注2 当日 欠席の方は打ち合わせの時間がうまくとれない
かもしれないでご了承ください。

5年に1度！10万人が集う！エストニア・タリン「歌と踊りの祭典」

&バルト3国8日間(2019年7月1日から)の旅



タリン参加報告第一報（7月12日本並）

関係者の皆さん、長い旅、お疲れさまでした。（以下時差ボケですみません）遠い異国へ飛行機で何時間もの旅をすると、今はまだ地球は広い、虹色のように（実際初めて二重の虹を見た）美しい地球を飾っているように見えます。

しかしそこで何が起こっていたか、時間的には今生きる私たち人間活動はその何十億分の一部分しかでない。全てを知ることはできない。しかし今がチャンス、ここらで戦争の歴史はお終いにしたい。

タリンの祭典では、エストニアの国旗は上から青（空）、黒（大地）、白（自由）、演奏が終わるたびに、コールと共に小さな旗が歓声と共に振られていた。バルトの人々は温厚です。

これが日の丸だったらと思うとぞつとする。

千秋様と森様には、「ヨイトマケの唄」がワルシャワとタリン、2回も演奏出来、日本人の、「うたごえ」私たちの、心意気が伝わりよかったです。

世界一のホロコースト、世界最大の合唱祭、やっぱりこの目で見て、この耳で聞くこと、脳裏に焼き付けることは一番だな！と思う旅でした。

川妻さんの詩は素敵です。

たとえば、平和の子守唄（エストニアの合唱）「暗い闇の中からやってきた・・・」と来る。それは何だったのかと、想像させる。

アウシュビッツも同じ、保存されている物は当時の大量虐殺の跡とは何万分の一以上の差はあると思う

が、その酷さは想像できる。

エストニア（他の3国も）の人々には、もっと前から、戦いではなく、天と地の恵み、そしてそこに生きる人々の自由や愛が欲しかったのでしょう！と。

ガイドさんは、親の言うことも聞かず、夜中窓から飛び出して参加した。その体験者。

独立を宣言するマスコミには先ず弾圧があった、それはテレビ塔だった、ソ連の戦車が（地震のない国なのに）地響きを立てて来たが、大勢の人々が集まり“歌った” 武器はない、暴動もない、歌が戦車を追い返した。今沖縄の闘いと共通するものがあるかな。

歌の詩は何時もこんなのがいいと、僕は思う！

川妻様 有難うございました。

謝謝！ 本並美徳

ブラッドレス、インディペンデンス 千秋昌弘

エストニア、ターリ音楽祭帰国の報告として添付、ブラッドレス インディペンデンスを送ります。千秋

「Bloodless Independence」

血を流さず、歌で独立した

エストニア人、ターリ生まれのケルト現地通訳の話に感動して

2019.7.10

カモメ舞い
聖火台に火は燃え
森に囲まれた大広場
大舞台に数万のうたごえ
客席も顔顔顔
入りきれない人も
フェンスの外で耳を傾け
13万のうたごえが
森を
海を
震わせる
ウェイブと歓声
大合唱と大歓声
13万の独立の叫び

私はソ連時代に生まれた
壁に耳あり
シベリアに送られるよ



Xmas 禁止	人間の鎖	テレビ塔で歌い始めた
海外旅行禁止	リトニア	戦争にならなかつた
店は空っぽ	ラトビア	ブラッドレス インディ
食べるものなし	エストニア	ペンデンス
重苦しい時代だった	国境を越えて	戦車は帰つた
自由に生きたい	500万人の手の鎖	周りの小さな国も
変えたいの声は	自由になりたい	次々に
少しづつ大きくなつた	未だソ連時代が続いた	独立を認めてくれた
「自由が欲しい」	1991年	私達は
「独立が欲しい」	今でないと独立できない	歌で
白夜の夜、	8月20日の夜	私たちの国を守り
歌の広場に若者が集まつた	エストニアは全世界に	独立した
私も窓から家を抜け	テレビ・ラジオで宣言し	今も
毎晩、歌の広場で歌つた	ようとした	これからも
手をつなぎ	放送局に	エストニア国中集まつて
自由になりたいと歌つた	戦車が何台も押し寄せた	ターリ歌と踊りの祭典は
未だそなならなかつた		続く



(ワルシャワ大学での交歓会)

(投稿)

国民平和行進に参加して

昂 立川孝信

7月4日の大阪市内の平和行進に参加した。心配していた雨にはならず、ちょうど行進にはやりやすい曇り空だった。

参加者は公示日のせいかいつもより少なかつた。しかし東京からの87歳の通し行進の方・府内通し行進の方もたくさんおられ、高齢ながら平和への熱い思いを感じた。この87歳の映画監督は7年連続参加で、マイクを握ると「核兵器廃絶願って歩いている」などと前口上を述べられ、その後全員で「平和行進です」と声を合わせるというシュプレヒコールをされて、その独創性に感服した。また毎年参加している泉佐野から参加の女性は、ミニのマイク持参で、しかも「ハレルヤコーラス」「森のくまさん」などの替え歌も用意され、彼女のコールのあと「ハレル~ヤ」と全員で声を合わすのは嫌でも盛り上がつた。

そして今回のトピックスはいつも行進の時に周りの人に「一歩でも二歩でも一緒に歩いてください」と呼びかけているが、何と5人の女学生が夕陽丘から上六までニコニコしながら一緒に歩いてくれたことだ。用意した歌集の中から「翼をください」は知っているとマイクを取って歌ってくれた。沿道から手を振って答えてくれる学生は沢山いるが、一駅分歌いながら一緒に歩いてくれたのは初めてだった。高齢化の波が押し寄せて若い人へのバトンタッチが叫ばれている中、一筋のまばゆい光を感じた。

大阪城公園での昼休憩では、うたごえ運動70年の中で「うたごえ」の果たしてきた歩みを語り来年2月フェニーチェ堺での「大阪のうたごえ祭典」の参加を呼びかけた。

□連絡事項

(3) 昇2019総会のお知らせ

2019年8月11日(日・夕刻)～12日(月・祝)

於：新大阪ユース 近日中に「2019昇総会議案書」を配布します。

(4) 昇うたごえ喫茶のご案内：8月25日(日)

14:00～16:00 ねむかホール



「八月の祈り」'19コンサート

2019年8月1日(木)

